

## フラット化グループ化について

### 1．導入目的（平成16年度導入）

- （1）柔軟性・機動性の高い業務執行体制の構築
- （2）総戦力化による事務対応能力の充実強化
- （3）意思決定の迅速化

フラット化グループ化の導入 平成16年度

### 2．評価・問題点

#### （1）評価

柔軟・機動的な業務への対応  
総戦力化による事務対応能力の充実強化  
意思決定の迅速化

#### （2）問題点

現場の渉外業務  
業務のチェック体制  
若手職員の指導・育成  
中堅職員の活性化

### 3 F G化の改善方向（平成21年度～ サブリーダー（副課長）の設置、権限付与）

グループ内に新たな階層を設けることなく、現行のサブリーダー制を見直す。

（現行のS L：グループ内において一定の事務を所掌するよう、所属長の裁量において任意に指名された職員）

本庁にあっては、必要に応じて、主幹・企画員に対して「サブリーダー」の職名を発令する。

地方機関にあっては、必要に応じて、グループの課長に代わって現場で一定の業務を処理する主幹・企画員に対して「副課長」の職名を発令する。

一定の権限を付与し、意思決定の迅速化、効率的な事務処理、スムーズな現場対応、業務チェック体制の強化などを図る。

### 4 組織、職制の対比表

（別紙のとおり）